

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-140	小学校	算数	算数	5 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4大日本	算数503	たのしい算数5年		

I 編修の基本方針

「たのしい算数」が大幅リニューアルしました

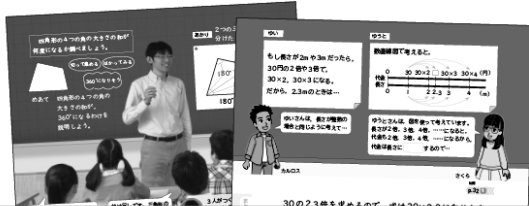
2020年度版「たのしい算数」は、新しい時代を生き抜くために必要な資質・能力を育成するため、内容を**大幅に刷新**しました。ていねいな紙面構成・展開で、全ての児童、先生にとってわかりやすい教科書を目指し、周辺教材とも連携しながら、豊かな学力が身につく教科書を目指しました。



ウェブコンテンツ、指導者用・学習者用デジタル教科書、準拠問題集などと一体で学力をのびます。

1. 考えるってたのしい！を育てる

→ 本紙 p.2



主体的・対話的で深い学びを実現するため、具体的でていねいな紙面構成とし、**見方・考え方を働かせながら、思考力・判断力・表現力をのばす**ことができるように様々な工夫をしました。

2. 算数大好き！を育てる

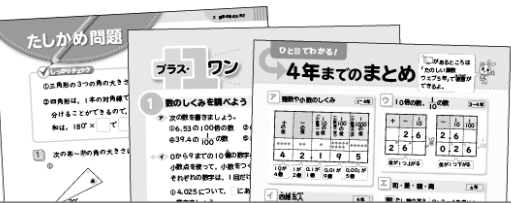
→ 本紙 p.3



導入や展開を工夫したり、発展的に学習をひろげる様子を盛り込んだりし、**主体的に学習が進められる**ようにしました。さらに、「ふくろう先生のなるほど算数教室」を新設するなどし、**学びに向かう力を一層高める**ことができましたようにしました。

3. わかった！できた！を育てる

→ 本紙 p.4



練習問題を豊富に用意するとともに、個に応じた指導に配慮した単元末問題や、前学年までのポイントをまとめたページなど、**基礎・基本が確実に定着**するようにしました。

学年1冊本だから、ふりかえりがしやすいね。



さらに！

→ 別紙「学習指導要領との対照表」参照

- 学習の進め方がわかる巻頭「算数まなびナビ」
- 統計的問題解決を重視し、**デジタルコンテンツ**も備えた統計単元
- **スタートカリキュラム**に対応した単元展開(1年)
- **小中の接続**に対応した特設ページ(5, 6年)

- **全学年でプログラミング教育**に対応
- **領域カラーやインデックス**など、機能的な紙面構成
- 特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮
- 外国語、道徳、防災、情報、オリンピック・パラリンピックなど、現代的な諸課題に対応

1

考えるってたのしい！を育てる ～思考力・判断力・表現力の育成～

①主体的・対話的で深い学びを実現するよう、重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と設定し、授業の流れ・数学的活動の流れをていねいに示しました。

導入→問題把握→自力解決

2 四角形の4つの角の大きさの和が何になるかを調べよう。

発表

板書の様子も掲載し、指導のヒントになるようにしました。

特に単元2の「じっくり深く学び合おう」では、写真を使いながら、5ページにわたって詳細に展開を示しているよ。

比較検討→まとめ・適用→ふりかえり

解決方法の共通点やよさを見いだす話し合いの場面も詳細に提示。

学習感想例を先生のコメント例付きで掲載。

式や図を読み取る活動や友達の発言に付け足しをする様子なども示しました。

②考え方に焦点をあてたまとめ「発見！考え方」や「ひらめきアイテム」を新設。見方・考え方を働かせながら学習を進められます。

p.52

もどにする大きさを決めて、そのいくつ分になるかを考えました。

例は1辺が1cmの立方体の24個分、③は27個分だから、③のほうが3個分大きいです。

★新設 考え方

直方体や立方体の大きさは、1辺が1cmの立方体をもとにして、そのいくつ分かで考えると、数で表して比べることができます。

ひらめきアイテム

ひらめきアイテム集

5年 組

名前

どんな計算になるか、どのように考えればいいのかを

で考える

もどにするもの

いくつ分かで考える

前に学習したことが使えるように。

p.34

p.52

p.56

p.150

2 右の数を、それぞれ分数で表しましょう。

① 0.3 ② 1.3 ③ 0.07 ④ 0.11

小数を分数で表す方法を考えよう。

① 0.1, 0.01 を分数で表しましょう。

② ①～④の小数を分数で表しましょう。

いくつ分かで考える

10/100などを

もとにして考えて...

本時のまとめは、知識・技能だけでなく、考え方に焦点をあてたものも掲載。

様々なところで使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」として提示。

発見したアイテムは、巻末シートにメモ。

アイテムを別の問題の解決などに生かします。

③各種の学力調査で課題とされている読解力・表現力・活用力などが身につきます。

読み取る力を

ピンゴにならないためには

さくらさんたちは、次のようなゲームをすることにしました。

① 右のようになすに、かけ算九九の答えを書く。
ただし、20以下の数にする。
② かけ算カードを1まいひき、答えがなすにあつたら、○をつける。
③ たて、横、ななめのどれか3つに○がそろったら負け。

情報を読み取る力や、学習を活用する力を育成する「読み取る力をのぼそう」を新設しました。

単元末の問題に、思考力・判断力・表現力を問う問題を設定。文章量の多い問題も取り入れ、読解力も育成します。

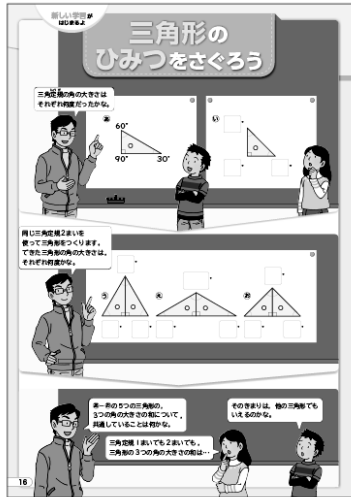
p.109

p.28

2

算数大好き！を育てる ～学びに向かう力・人間性等の涵養～

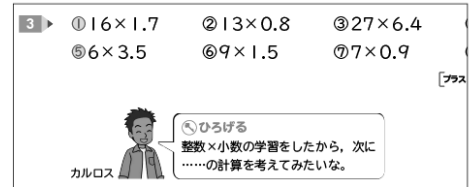
①導入の工夫や、発展的に考える様子の例示などを通して、主体的に学習に取り組めるようにしました。



p.16



p.222



学習をふりかえて、新しい問題を見だしていく様子を例示。

p.40

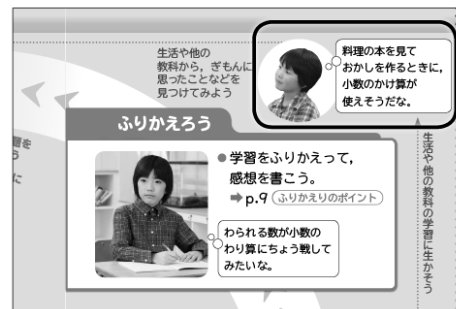
単元導入や毎時の導入では、児童自身が問題や疑問を見だし、主体的に学習に取り組めるような題材を工夫しました。

②算数の学習を日常生活や他教科の学習に生かす態度を養います。



p.161

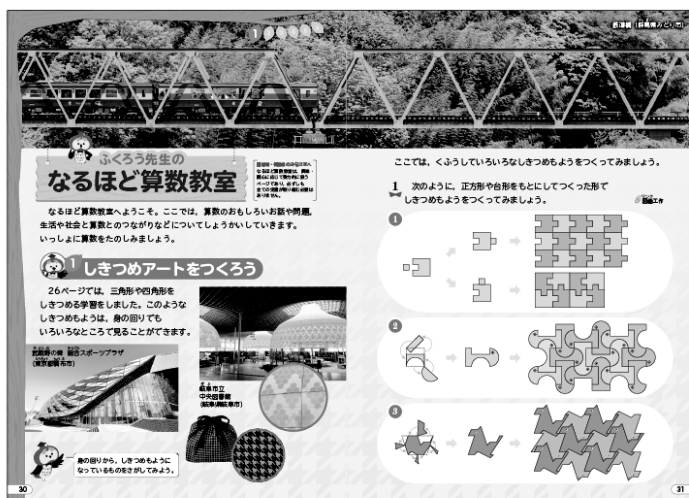
学習したことを生活にも生かすことのできるよう、題材を工夫しました。また、1～3年では、「おうちで算数」を新設しました。



p.7

巻頭の算数まなびナビでは、学習したことを生活に生かそうとする様子や、発展的に新しい問題を見いだす様子を掲載しました。

③算数のたのしさがひろがるコラム「ふくろう先生のなるほど算数教室」を新設しました。



p.30～31



p.95

「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、面白い算数の問題やお話、算数を生かして仕事をされている方へのキャリア教育インタビューなどを掲載。算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感させたりすることができます。



3

わかった！できた！を育てる ～知識・技能の確実な習得～

①充実した適用問題・補充問題で、知識・技能を確実に身につけ、定着させます。

毎時の適用問題は、従来より問題数を増やし、全単元にわたって十分な量を設けました。

水色の印で問題のタイプ分けを提示。全単元で採用し、時間調整や習熟度別指導に対応しやすくしました。

1. ① 0Lの25%は何Lですか。
② 180m²の5%は何m²ですか。

2. 800mLの水を入れることができる電気ポットに、30%のところまで水が入っています。何mLの水が入っていますか。

3. ドーナツが土曜日に250個売れました。日曜日には、土曜日に売れた数の140%が売れました。日曜日に売れたドーナツは何個ですか。

（プラス・ワン p.261）

p.162

プラス・ワン

1 数のしくみを調べよう

次の数を書きましょう。

① 6.53の100倍の数 ② 0.49×10 ③ 0.72の1000倍の数
④ 39.4の $\frac{1}{100}$ の数 ⑤ 8.01÷1000 ⑥ 0.52の $\frac{1}{10}$ の数

⑦ 0から9までの10個の数字のうちの4個と小数点を使って、小数をつくりましょう。

p.252

鉛筆問題に対応した巻末の補充問題「プラス・ワン」を全単元にわたり豊富に掲載しました。自分で答え合わせもできます。

②習熟度別指導などの個に応じた指導や自己評価に活用できるように、単元末の「たしかめ問題」を刷新しました。

用語や計算のしかたなどの基礎・基本を再確認できる「しっかりチェック」を新設。

問題番号には水色の印をつけました。授業時間が限られているときや、習熟度別指導の際に、水色の問題だけ取り組むといった柔軟な使い方ができます。

たしかめ問題

① $\frac{2}{3}$ と $\frac{5}{6}$ を通分しましょう。

② $\frac{2}{3}$ と $\frac{5}{6}$ の公約数になるようにする。

③ $\frac{2}{3}$ を約分しましょう。4と6の公約数でわる。

④ ()の中の数を通分しましょう。

⑤ □にあてはまる等号か不等号を書きましょう。

⑥ 次の分数を約分しましょう。

⑦ 計算をしましょう。

p.120～121

分数のたし算、ひき算のしかたを説明できるかな

⑤ $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{5}{6}$ というまちがいに気づいて、ゆいさんは次のように説明しています。

⑥ いちごのジャムが黄色のびんに $\frac{2}{3}$ kg、緑色のびんに $\frac{1}{3}$ kg、オレンジ色のびんに $\frac{1}{6}$ kg入っています。⑦ ジャムが入っている量が一番多いびんと、一番少ないびんとはどれだけの差がありますか。

⑧ ⑤と⑥の間の分数で、分母が63である分数の分子を全て求めましょう。

p.117

思考力・判断力・表現力を問う問題も掲載し、評価としても活用できるようにしました。

ふりかえるページも掲載。

習熟度の高い児童には、「チャレンジ！」の問題を用意。

③学習のふりかえりや学び直しができるように、学年1冊本とし、巻末には前の学年までのまとめページを新設しました。また、4年までの学習内容を確認するページ、チェックアンドトライを設けました。

全学年、上下巻に分かれていない学年1冊本を採用。5年で学習したことをくりかえしふりかえることができます。

特にふりかえることが効果的なところでは、リンクマークを設置しました。

3 0.3 + $\frac{2}{5}$ の計算のしかたを考えよう。

分数のたし算・ひき算

p.117

5年のなかで、学習をふりかえる。

① 次の2人の考えを説明しよう。

② $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$ の計算のしかたを考えよう。

③ 分母のちがう分数のたし算やひき算は、通分すると計算できます。

p.117

10倍の数、 $\frac{1}{10}$ の数

p.270

前の学年までの学習をふりかえる

4年までのまとめ

① 整数や小数のしくみ ② 10倍の数、 $\frac{1}{10}$ の数

③ 和・差・積・商

④ 割合

p.270

前の学年までの学習をコンパクトにまとめたページを新設。文章を短くし、図を多用して、ひと目でポイントが確認できるようにしました。

Ⅱ 対照表

教育基本法の理念にそって、真理を追求し、豊かな人間性と創造性を身につけることができるように、次のような点に配慮して教科書を編修しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	目次	・目次ページには、 既習事項や今後の学習とのつながり を記載しました。(第一号)	表紙裏～p.1
	算数まなびナビ	・「算数まなびナビ」では、学習の進め方を算数の問題解決の流れとして サイクル状 に示すとともに、 生活や他教科に学習を生かす 様子も掲載しました。(第一、二号) ・ ペア・グループ学習 の例や、 友達の考えのよさを見いだす ことなどを掲載しました。(第一、三号)	p.6～9
本編	各単元の構成	・主体的・対話的で深い学びが実現するよう、 数学的活動を豊富に取り入れ 、知識・技能、思考力・判断力・表現力が育成できるようにしました。(第一、三号)	全体
	じっくり深く学び合おう	・重点となる時間を「じっくり深く学び合おう」と位置づけ、 主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫 しました。(第一、三号) ・自分の 考えを表現する活動 や、問題に対する 多様な解決方法 を掲載しました。(第二、三号)	p.19～23, p.35～36, p.203～204など
	まとめ ひらめきアイテム	・まとめは、知識・技能だけでなく、 考え方に焦点をあてた「発見！考え方」 を取り入れました。(第二号) ・様々な場面で使える 見方・考え方を「ひらめきアイテム」 として掲載しました。また、学習の中で発見したアイテムは 巻末シート に記録し、以降の学習で活用できるようにしました。(第二号)	p.52, 234, 287
	適用問題	・毎時の適用問題は、 従来よりも豊富に掲載 し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させることができましたようにしました。(第二号)	p.18, 118～119, 162, 212など
	ふりかえろう	・「じっくり深く学び合おう」のページを中心に、学習感想を書くコーナー「ふりかえろう」を設け、大切な考え方に気づかせたり、自己評価を促したりすることができるようになりました。(第一、二号)	p.23, 53など
	たしかめ問題	・単元末の「たしかめ問題」は、「しっかりチェック」「チャレンジ！」を設けるなどし、 習熟度別指導などの個に応じた指導の際に、柔軟に活用 できるようにしました。また、どの問題までできたかを見ることで自己評価ができるようにしました。(第一、二号) ・ 思考力・判断力・表現力 を問う問題も適宜取り入れ、評価にも活用できるようにしました。文章量の多い問題も取り入れ、 読解力を育成 することもできるようにしました。(第一、二号)	p.27～28, p.141～142, p.197～198など
	読み取る力を のばそう	・各種の学力調査で課題とされている、 読解力・活用力・表現力を育成 するため、「読み取る力をのばそう」を新設しました。(第一、二号)	p.109, 122～123, 170, 221
	ふくろう先生の なるほど算数教室	・「 ふくろう先生のなるほど算数教室 」を新設し、興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感したりできるようにしました。(第一、二号) ・ 算数を生かして仕事をされている方へのインタビュー を掲載し、大日本図書のウェブサイトにもその動画も掲載しました。(第二号)	p.30～31, 95, 132, 143, 199, 243
	プログラミングに ちょうせん！	・ プログラミング に触れる特設ページを 全学年 に設け、 プログラミング的思考 をのばすことができましたようにしました。(第一、二号)	p.250～251
	プラス・ワン	・巻末補充問題「プラス・ワン」を 全単元にわたって 設定し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させることができましたようにしました。(第一、二号)	p.252～266
巻末	中学校の数学では こんなことを学ぶよ	・5年生の学習の中で中学校数学への つながりが強いもの を取り上げ、数学の内容を紹介するページを新設しました。(第一、二号)	p.267
	チェック アンド トライ	・前の学年までの学習内容の理解の程度を把握することができるよう、基本的な学習内容の復習問題と、活用力や読解力を測る問題で構成したページを設けました。(第一、二号)	p.268～269
	4 年までのまとめ	・ 前の学年までの学習内容を図などを使ってまとめた「4 年までのまとめ」 を新設し、基礎的・基本的な知識・技能をくりかえしふりかえることができましたようにしました。単元内には、「4 年までのまとめ」への リンクマーク を付しました。(第一、二号)	p.270～273
	数直線図のかき方	・数直線図のかき方の理解・定着を図るために、手順を細かく解説する特設ページを設けました。(第一、二号)	p.274～275
	イラストや写真	・キャラクターの1人を 外国にルーツをもつ児童 に設定。また、挿絵や活動写真にも適宜、外国にルーツをもつ人や外国人を掲載し、異文化理解を促すようにしました。(第三、五号) ・イラストの中などに、車椅子を使っている人や盲導犬を入れ、 障害者に対する理解 を促すようにしました。	p.66, 99, 161, 192など p.127, 161など
その他	環境などに配慮した 問題	・自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うため、問題場面などに適宜、 リサイクル などに関連したものを掲載しました。(第四号)	p.129, 163
	特別支援教育、ユニ バーサルデザインに 配慮した紙面構成	・専門家の監修のもと、 全面的にユニバーサルデザインフォント を使用したり、 カラーユニバーサルデザイン をふまえた配色を工夫したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。(第一号)	全体
	デジタルコンテンツ	・知識・技能を定着させたり、学習をよりひろげたりすることができるよう、 デジタルコンテンツ を用意し、対応するページにマークを付しました。(第一、二号)	p.79, 95, 140, 164, 183, 250

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-140	小学校	算数	算数	5年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4大日本	算数503	たのしい算数5年		

I 編修上特に意を用いた点や特色

1 学習の進め方がよくわかる巻頭「算数まなびナビ」

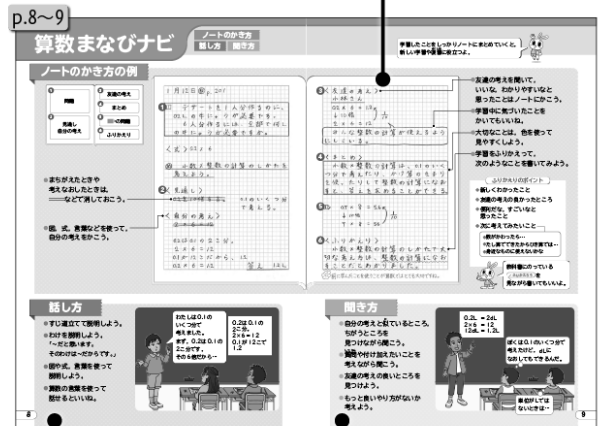


学習の進め方・問題解決の流れをサイクル状に示し、学習を発展的にひろげていく態度を促すようにしました。

ペアやグループでの対話的な学びの例も提示。

生活や他教科に学習を生かす様子も例示。

ノートのかき方を先生のコメント付きで例示。

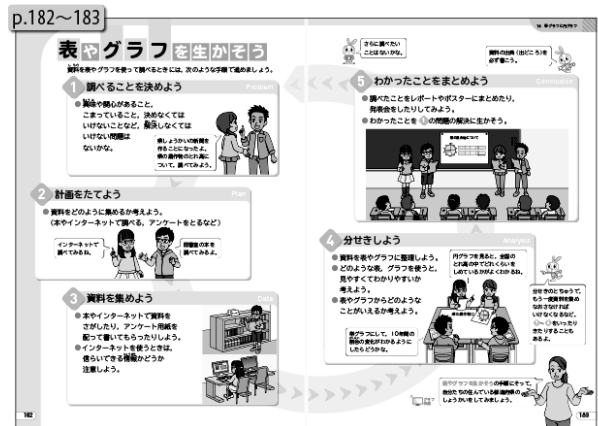
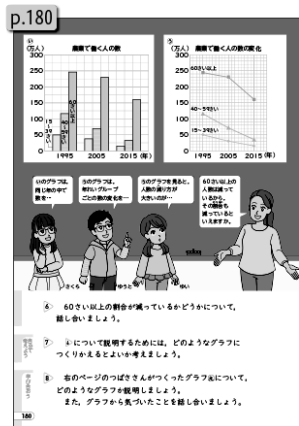


発表のポイントや、友達の発表を聞くときの姿勢についても掲載。

2 統計的な問題解決を重視した統計単元



p.175



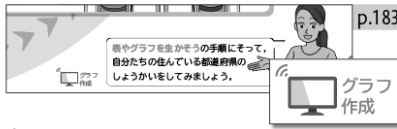
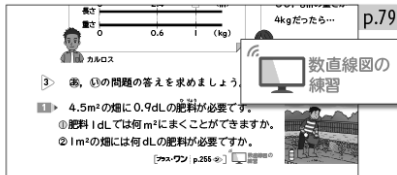
導入では、問題を見いだす場面を提示。単元内では、批判的に考察する問題も新設しました。

観点を自分で決め、学習した表やグラフを活用して問題解決する課題を新設しました。

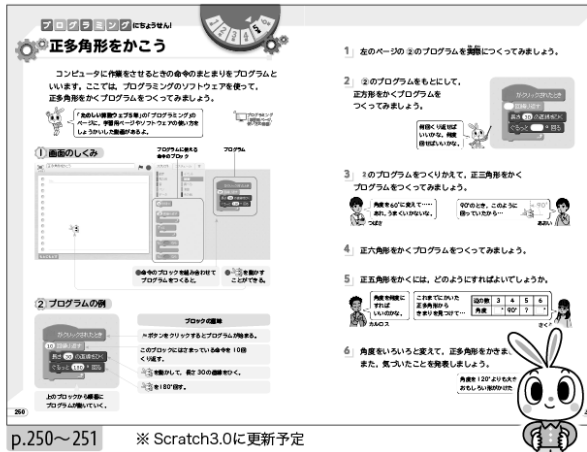
統計的問題解決の5つの段階を示した「表やグラフを生かそう」を新設しました。また、グラフが作成できるデジタルコンテンツを設け、レポート作成などに活用できるようにしました。

3

ICT 教育の充実、プログラミングページの新設



「」のマークがあるところには、練習問題や、グラフ作成ツールなどのデジタルコンテンツを用意。インターネットにつながなくても使用できるよう教師用指導書にも収録予定です。



「プログラミングにちょうせん!」のページを新設。5学年ではプログラミングのソフトウェア「Scratch」を使って、正多角形をかくプログラムをつくりまします。

「プログラミングにちょうせん!」は全学年に設定してあるよ。

4

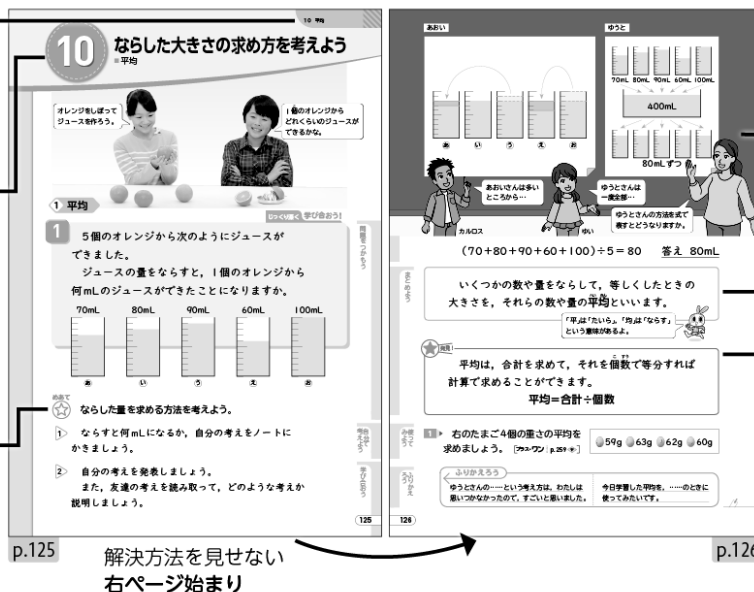
使いやすく機能的な紙面構成

ふりかえりをするとき
に探しやすいインデックス

学習のつながりがわかりやすい、領域別単元カラー

緑 : 数と計算
ピンク : 図形
青 : 変化と関係
オレンジ : データの活用

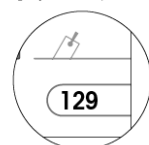
本時の学習内容がひと目でわかる、学習のめあて（2年以降の全時間に設定）



経験の浅い先生や算数専門でない先生も授業の流れがイメージしやすい、授業場面イラストや吹き出し

児童が見いだすことを、先生が教えることを、赤枠と青枠で区別

1時間の区切りの目安を示すしおりマーク



5

専門家監修のもと特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮

全面的に UD フォントを使用

本文や吹き出し、ページ番号など、全面的に見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しました。特に教科書体は、デジタル教科書でも読みやすい書体を採用しました。



読みやすい位置での改行

単語の途中で改行せず、読みやすい位置で改行しています。

平均を使うと全体を予想することができるね。

ページ番号

ページ番号は枠で囲むとともに太い書体を採用し、判別しやすくしました。

190

カラーユニバーサルデザイン

色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、配色に配慮しました。インデックスでは、のような模様の処理を施し、より判別しやすくしました。

10 平均

問題解決の段階を示すタブ

問題解決の段階を示したタブを入れて、特別な配慮を必要とする児童を含め、全ての児童にとって今何をしているかが把握しやすく、安心して学習に取り組めるようにしました。

問題をつかもう

6

学年間の系統性、幼児教育・中学校との接続に配慮

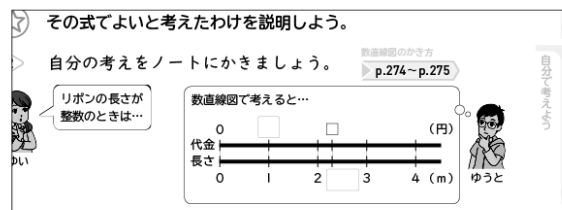
5 年 目 次	
前の学習 大きな数、小数	1 整数と小数 10
角 角度	2 図形の角の大きさ 16
量の 変わり方	3 2つの量の 変わり方 32

目次では、既習事項とのつながり、今後の学習とのつながりを明示しました。



1 年表紙裏～p.1

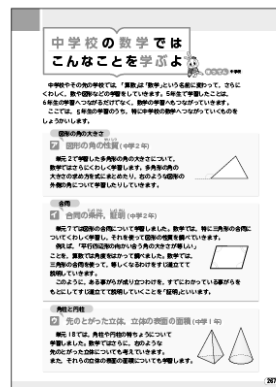
1 年生巻頭では、幼稚園・保育園とのつながりを示唆するオープニングページを設定。単元の学習でもスタートカリキュラムをふまえた内容を工夫しました。



演算決定などで重要となる図については、6 学年を通して系統的に扱い、徐々に使いこなすことができるように配慮しました。また、巻末に数直線図のかき方の手順を解説した特設を設けました。



6 年 p.222

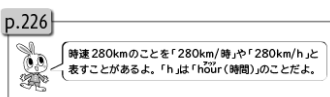
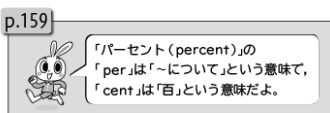


5 年 p.267

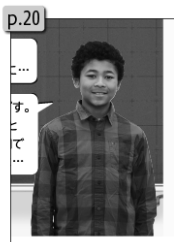
5、6 年では、中学校の学習との接続を意図した特設を設置。数学へとつながる問題・活動や、数学の内容を紹介するページを設けました。

7

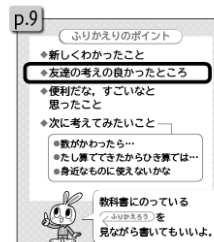
様々な現代的な課題に対応



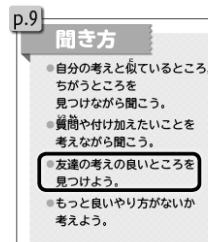
〈外国語〉
算数用語の中で、外国語由来のものを取り上げ、アルファベットの表記などを提示しました。



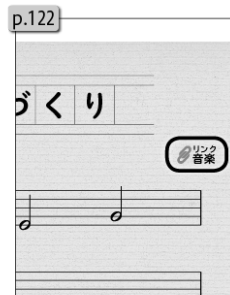
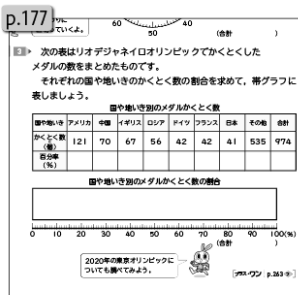
〈異文化理解〉
キャラクターの 1 人を外国にルーツをもつ児童に設定。挿絵や写真でも適宜外国にルーツをもつ人々を掲載しました。また、統計単元の題材で、外国人観光客などを取り上げました。



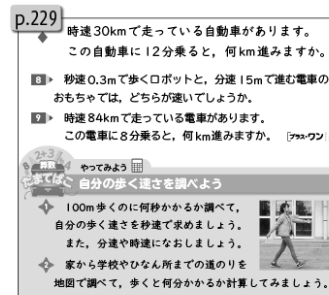
〈道徳教育〉
友達の考えの良いところを見つけることを促す記述を取り入れるなど、道徳教育との関連をはかりました。



〈オリンピック・パラリンピック〉
東京2020オリンピック・パラリンピックのエンブレムをデザインした野老朝雄さんのインタビューを掲載しました。また、競技記録やメダルの数などを学習の題材として大きく取り上げました。



〈他教科との連携〉
他教科との関連をマークで示しました。



〈防災教育〉
避難所までの距離や時間を調べる活動を取り入れました。

教科書の特徴

教育基本法の遵守	・教育基本法第1条の「教育の目標」を実現するために、同2条の「教育の目標」の達成を目指して編修しました。
学習指導要領の遵守	・算数科の学習指導要領に記載された項目を全て取り上げました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	・巻頭の「算数まなびナビ」において、 ペア・グループ学習を含めた対話的な学び の方法を例示しました。(p.6～9) ・「じっくり深く学び合おう」の時間では、多様な解決方法を比較検討して 話し合う活動 などを通じて、 深い学び が実現するように配慮しました。(p.19～23, p.35～38など)
基礎的・基本的な知識・技能の習得	・毎時の適用問題を 従来よりも豊富に掲載 するとともに、巻末補充問題「プラス・ワン」を 全単元にわたって 設定しました。(p.70, 162など, p.252～266) ・ 前の学年までの学習内容を図などを使ってまとめた「4年までのまとめ」 を新設し、知識・技能をくりかえしふりかえることができるようにしました。(p.270～273) ・ 学年1冊本 とすることで、既習事項のふりかえりがしやすくなるようにしました。また、ふりかえりが特に有効なところでは、 リンクマーク を付しました。(p.151, 195, 224など)
思考力・判断力・表現力等の育成	・本時のまとめでは、 考え方に焦点をあてたまとめ を適宜取り入れました。(p.52, 137など) ・ 様々な場面で使える見方・考え方を「ひらめきアイテム」 として設定し、学習を進める中で獲得したり、獲得した見方・考え方を活用したりする展開を工夫しました。(p.36, 65など)
学びに向かう力、人間性等の涵養	・単元の導入などは、 児童自身が問題や疑問を見いだし 、主体的に学習に取り組めるような題材を工夫しました。(p.110～111, 222など) ・ 「ふくろう先生なるほど算数教室」 を新設し、算数への興味・関心を高めたり、算数が社会で生かされていることを実感したりすることができるようにしました。(p.30～31, 143など)
個に応じた指導	・ 水色の印で適用問題のタイプ分け を提示するとともに、巻末補充問題「プラス・ワン」を 全単元にわたって 設定し、時間調整や 習熟度別指導 に対応しやすくしました。(p.42, 212など) ・単元末の「たしかめ問題」は、「 しっかりチェック 」「 チャレンジ! 」を設けるなどし、 習熟度別指導 などの個に応じた指導の際に、柔軟に活用できるようにしました。(p.27～28など)
学年間の系統性への配慮、幼保小の連携、小中の接続	・目次では、 既習事項とのつながり、今後の学習とのつながり を明示しました。(表紙裏～p.1) ・1年生巻頭では、 幼稚園・保育園とのつながり を示唆するオープニングページを設定しました。単元の学習でも スタートカリキュラム をふまえた内容を工夫しました。 ・5, 6年では、 中学校の学習との接続 を意図した特設を設置しました。(p.267)
ICT教育への対応	・ 無料のデジタルコンテンツ を豊富に用意し、対応するページにマークを付しました。(p.79, 85, 183など) ・プログラミング教育に対応したページを 全学年 に設けました。(p.250～251)
道徳教育との関連	・ 友達の考えの良いところ を見つけることを促す記述を取り入れるなどし、道徳との連携にも配慮しました。(p.9)
他教科との関連	・社会科、理科など、 他教科に関連した題材 を適宜扱うとともに、関連していることをマークで示しました。(p.178など)
現代的な諸課題への対応	・外国語の学習との連携に配慮し、外国語由来の算数用語を取り上げ、アルファベット表記などを掲載しました。また、異文化理解を促すため、キャラクターの1人を 外国にルーツをもつ子供 としたり、イラストや写真の中でも、適宜外国にルーツをもつ人々を掲載しました。(p.159, 36, 20など) ・オリンピックやパラリンピックを題材とした問題や写真を取り上げました。(p.14, 177など)
伝統文化を尊重する態度の育成	・デザインに和の要素を取り入れた千鳥格子柄や、東京2020オリンピック・パラリンピックのエンブレムを取り上げ、日本の伝統文化を尊重する態度を育成することができるようにしました。(p.30, 95)
評価への対応	・適用問題を豊富に設け、単元末には「たしかめ問題」を設定することで、評価としても活用することができるようにしました。(p.18, p.27～28) ・ 「ふりかえろう」 を設置し、学習感想を書かせることで、評価の資料とすることができるようにするとともに、自己評価をすることができるようにしました。(p.38など)
家庭・地域社会との連携	・ 家庭や地域においても算数を活用 する態度を育成できるよう、身の回りから算数を探す活動を掲載しました。(p.139, 159など)
安全への配慮	・教室外の活動などでは、 安全に行うことができるもの を採用しました。(p.229) ・インターネットを使用する際には、情報の信憑性について注意するよう記載しました。(p.182)
配列・分量	・学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列を組みました。 ・単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、年間の 予備時数も十分に確保 しました。 ・単元内の問題は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるために豊富に用意しました。
特別支援教育、ユニバーサルデザインへの対応	・専門家の監修のもと、文節単位での改行、 全面的ユニバーサルデザインフォント の使用、 カラーユニバーサルデザイン をふまえた配色などの工夫を行い、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。
印刷・製本	・環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は丈夫で汚れにくくなるように加工しました。 ・製本は児童にとって安全で、奥までよく開くアジロ綴じを採用しています。

Ⅱ 対照表

第5学年

二重線は3学期制の区切り、太破線は2期制の区切り

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所 ページ	配当 時数	用語・記号
巻頭	「たのしい算数」の使い方		2～5	－	
	算数まなびナビ		6～9	－	
本文	1 整数と小数	A(2)ア(ア), イ(ア)	10～15	3	
	2 図形の角の大きさ	B(1)ア(イ), イ(ア), 内容の取扱い(2)	16～28	6	
	しきつめアートをつくろう		30～31	－	
	3 2つの量の変わり方	A(6)ア(ア), イ(ア), C(1)ア(ア), イ(ア)	32～34	2	比例 33
	4 小数のかけ算	A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)	35～48	12	
	復習		49	－	
	5 体積	B(4)ア(ア)(イ), イ(ア)	50～64	10	
	6 小数のわり算	A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)	65～84	17	
	7 合同な図形	B(1)ア(ア), イ(ア)	85～94	7	
	算数お仕事インタビュー		95	－	
	復習		96	－	
	8 整数の性質	A(1)ア(ア)(イ), イ(ア), 内容の取扱い(1)	97～108	8	最大公約数104, 最小公倍数100
	ピンゴにならないためには		109	1	
	9 分数のたし算とひき算	A(4)ア(ウ)(エ), イ(ア), (5)ア(ア), イ(ア)	110～121	9	通分 114, 約分 116
	分数で音楽づくり		122～123	1	
	10 平均	D(2)ア(ア), イ(ア)	124～131	6	
	九九表の数を全部たすと?		132	－	
	復習		133	－	
	11 単位量あたりの大きさ	C(2)ア(ア), イ(ア)	134～142	5	
	来場者数はどのように数えるの?		143	－	
	12 分数と小数, 整数	A(4)ア(ア)(イ), イ(イ)	144～153	7	
	13 割合	C(3)ア(ア)(イ), イ(ア), 内容の取扱い(4)	154～169	10	% 158
	どの割引券を使うのかな		170	1	
	14 帯グラフと円グラフ	D(1)ア(ア)(イ), イ(ア), 内容の取扱い(5)	171～185	6	
	15 正多角形と円	B(1)ア(ウ)(エ), イ(ア), 内容の取扱い(3)	186～198	9	
	円周率の歴史		199	－	
	復習		200	－	
	どんな計算するのかな		201	1	
	16 四角形と三角形の面積	B(3)ア(ア), イ(ア)	202～220	12	
	面積は変わるかな		221	1	
	17 速さ	C(2)ア(ア), イ(ア)	222～231	6	
	18 角柱と円柱	B(2)ア(ア), イ(ア)	232～242	7	底面, 側面 235
	芯を切り開くと?		243	－	
	変わり方を調べよう	A(6)ア(ア), イ(ア)	244～245	1	
	5年の復習		246～249	2	
	プログラミングにちょうせん!	指導計画の作成と内容の取扱い 2(2)	250～251	－	
			合計	150	
巻末	プラス・ワン		252～266	－	
	中学校の数学ではこんなことを学ぶよ		267	－	
	チェック アンド トライ		268～269	－	
	4年までのまとめ		270～273	－	
	数直線図のかき方		274～275	－	
	さくいん		289	－	

〔数学的活動〕

学習指導要領の内容	該当箇所ページ
1 (ア)	32～33, 51～53, 97～98, 99～100, 102, 103～104, 106, 125～126, 130, 135～137, 155～157, 161～162, 163～164, 165, 166, 171～173, 178～181, 191, 223～225, 227, 228
1 (イ)	16～18, 19～23, 24～25, 26, 35～38, 39, 41, 45, 46, 55～57, 65～68, 69, 71, 85～86, 89～91, 92, 110～112, 117, 144～147, 151, 187～188, 196, 202～204, 207, 209～210, 213, 214, 216～217, 218, 232～234
1 (ウ)	19～23, 24～25, 35～38, 39, 41, 51～53, 55～57, 65～68, 69, 71, 79, 80～82, 89～91, 110～112, 117, 125～126, 135～137, 145～147, 148, 155～157, 161～162, 163～164, 172～173, 178～181, 196, 203～204, 207, 209～210, 213, 214, 216～217, 223～225, 227, 228, 232～234

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-140	小学校	算数	算数	5 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4大日本	算数503	たのしい算数5年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
29	多角形の角の大きさの和	1	B(1) ア (イ) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。	1
267	多角形の角の大きさの和	1	B(1) ア (イ) 三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解すること。	0.25
267	合同条件, 証明	1	B(1) ア (ア) 図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに, 図形の合同について理解すること。	0.5
267	錐体	1	B(2) ア (ア) 基本的な角柱や円柱について知ること。	0.25
合計				2

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上, 隣接した後の学年等の学習内容 (隣接した学年等以外の学習内容であっても, 当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む) とされている内容
- 2…学習指導要領上, どの学年等でも扱うこととされていない内容